

## 2 学期終業式 挨拶

皆さん、2 学期お疲れさまでした。

振り返ってみると、この学期は、皆さんの頑張りを多くの場面で見ることができました。体育祭に文化祭、2 年生の修学旅行も記憶に残る素晴らしい行事となりました。

そして、この2 学期、全クラスの授業を見させていただきました。先生方と皆さんの様子を見ながら、校長として常々申し上げている「主体的・対話的で深い学び」がどのように実現されているかを感じることができました。

「人間は読んだことの 10%、聞いたことの 20%、見たことの 30%を覚えている。けれども、自分で言ったことは 80%、自分で言って行ったことは 90%覚えている」という言葉があります。

授業の中で、ただ聞いているだけではなく、自分の言葉で説明してみたり、もう一度解きなおしてみたり、実際にやってみることで、学んだことは本当に身につきます。主体的に対話を重ねること、そして「自分で言って、やってみる」ことが大切です。

今日の校長の話は、聞いているだけなので、きっと 20%くらいしか覚えていないでしょう。でも、その 2 割でも心に残ってくれたら嬉しいです。ぜひ、学びの場では「聞くだけ」ではなく「言って、やって」みてください。それが本当の自分の力となります。

印象に残った授業の様子をいくつか紹介します。先生からの問いに対してこれはよく考えて答えているなどと思った皆さんの活躍を一部紹介します。

ジグソー法を使った国語の研究授業では、先生が「オノマトペって何ですか？」と質問したとき、即座に「ドキドキ」と答えた生徒がいました。質問の意図と教室の緊張感を見事に言い当てていて、感心しました。このクラスは 2 回研究授業を見させていただきましたが、どちらの授業も生徒だけで話し合う姿が見られました。特に 2 回目の授業では、先生が設定した問い「羅生門の下人は悪人か」という問いについて生徒同士で話し合いが深められていて、成長を感じました。

英語の授業では、「受け身の例文を考えてみて」という先生の問いに、即興で「坊ちゃんは夏目漱石に書かれた」と英語で答えた生徒がいました。瞬発力と教科横断的な発想が素晴らしいと思いました。

数学では「判別式の解のパターンを予想してみよう」という難しい問いに、しっかりと予想した答えを出した生徒がいました。自分で言ったことは忘れないといえますから、数学のテストもよくできたのではないのでしょうか。

体育では、男女共修のソフトボールの授業を見学しましたが、自主的に準備体操から準備と片付けまで進めていました。また、思いやりある言葉かけ、いいプ

レーは褒め合って、次のプレーを予測しながら動くようにチームに声をかけている生徒もいて、とても清々しい気持ちになりました。

情報Ⅱでは、レゴでつくるロボットをプログラミングで動かし、一人ひとつオリジナル作品を作っていました。文化祭や日常生活に役立つものを作るという発想で、問題解決をしながらオリジナルの新しいものを生み出すという、皆さんの独創性までも育てる授業でした。ポスターセッション形式の発表では、大学の先生や教育委員会の指導主事の方も見えていたところ、さすが3年生です。物おじせず大学の先生や指導主事の先生も言っていました、楽しそうに受け答えをしていたことが素晴らしいというお褒めの言葉をいただきました。

これまでもこれからも、授業とは、ただ暗記するのではなく、対話で整理し、深め、理解を広げるものだと思っています。それには先生や仲間の意見に耳を傾ける姿勢が不可欠です。先生方にも、ぜひ生徒が「頭を使ったな」「体を動かしたな」と思える授業を実践してもらえよう言い続けたいと思います。

また、夏休みから2学期にかけて授業だけではなく、本校と地域との連携交流事業がたくさんありました。北本市での平和宣言、模擬議会での発表、北本ロータリークラブ主催の留学生との交流など、地球規模の課題や地域課題や国際交流に挑戦する姿がありました。代表生徒の皆さんは本当に素晴らしかったです。模擬議会では、現役の議員を前に意見を言ったり、その場で意見交換をしたりしていました。留学生はカナダ、アメリカ、フランス、ベルギー、スイス、フィンランド、スウェーデンなど世界各国から来ていましたが、その留学生たちと臆することなく積極的にコミュニケーションを取って北本市の魅力をアピールするミッションに挑戦する姿がありました。こういうコミュニケーション力は北本高校生の良さであることを自覚して、これからも引き継いでいってほしいと思っています。北本ロータリークラブの方から北本高校生の中からぜひ留学生をと頼まれています。どうでしょう？海外の高校で自分が学ぶ姿を思い浮かべるのも、夢が広がりますね。いや、夢が現実になるかもしれません。1, 2年生でもし挑戦したいという人がいれば、校長室まで相談にきてください。

今日、皆さんに伝えたいことは、「自分の頭で考えて行動してみること」、そして「他の人と対話を通じて考えを育てること」です。相手の考えを理解し、自分の考えを深める。その積み重ねが、皆さんをより豊かな人間にしてくれます。一人で考える時間も必要ですが、他の人と話し合うことで視野は広がり、よりよい答えに近づけます。対話は、自分では気づけない視点を与えてくれます。冬休みはぜひ、ご家族と、この一年の学び、二学期の成績や経験を話題にしながら、対話を通じて次の目標に近づける時間にしてください。